

食材のお届けだけじゃない!  
パルシステム東京の  
社会活動をご紹介します。

## 原爆投下から79年

## いま私たちにできること

パルシステム東京では「パルシステム東京平和政策」に基づき、毎年ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアーを実施。原爆投下日に合わせて現地を組合員とともに訪れ「平和」について考える機会を設けています。原爆投下から79年経った今、核兵器にまつわるニュースや条約から見えてくる【いま私たちにできること】を一緒に考えていきませんか。

### 「原爆裁判」判決から60年 問われ続ける核兵器の違法性



東京地裁が、米軍の原爆投下を初めて国際法違反とした「原爆裁判」の判決から今月で60年を迎えた。

※注1

※注2

「原爆裁判」は1955年、広島と長崎の被爆者たち5人が、サンフランシスコ平和条約で米国への賠償請求権を放棄した日本政府を相手に起こした訴えだ。(略)審理は8年以上に及んだ。(略)核兵器禁止を明文化した国際法がなかった時代に、原爆の非人道性を前提として国際法に照らした画期的な判断といえよう。

原告、政府とも控訴せず、判決は確定した。(略)

原爆が投下された直後、日本政府はその「無差別性かつ惨虐性」を断じ、「国際法及び人道の根本原則を無視」しているとして米国に強く抗議した。しかし、「原爆裁判」では、「原爆使用を違法とする国際法がなかった」として争った。核兵器を違法とする国際法が発行したいま、日本政府の姿勢がなおさら問われている。(森田裕美)

※2023/12/12掲載 引用元：中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター



【広島平和記念碑(原爆ドーム)】



【平和祈念像】

「原爆裁判」にて国際法違反となっているにもかかわらず、未だ日本は核兵器禁止条約には不参加です。また唯一の被爆国でもあるのになぜ参加しないのでしょうか。ロシアがウクライナに対して軍事侵攻をしていく中、“核の脅威”を世界に示しています。今こそ日本は被爆国として核兵器を禁止するように声をあげるべきではないでしょうか。

※注1…「原爆裁判」の判決から2023年12月で60年を迎えた。

※注2…サンフランシスコ平和条約：日本と連合国48か国の間で結ばれた、第二次世界大戦による法的な戦争状態を終わらせるための平和条約



## 核兵器禁止条約ってなあに？



核兵器禁止条約は、条約に参加する国々が核兵器を開発、実験、生産、移転、保有、備蓄、使用または使用の威嚇(おどし)、他国の核兵器を自国の領土に配備させることも禁止しています。また、核兵器を保有していない国が、他国による核兵器保有や使用の、援助・支援に関わることもすべて禁じられています。



日生協HP  
「核兵器禁止条約とは？」

## パルシステム東京の取り組みは？

### アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に対する抗議文

「核兵器なき世界」の実現に向けて、核兵器禁止条約に加わりと共に、NPT(核兵器不拡散条約)及びG7で約束した誠実な核軍縮に取り組むことを強く求め、2024年5月27日、アメリカ合衆国大使館に対して抗議文を提出しました。



パルシステム東京HP「お知らせ」

## 身近に私たちができることは？

メディアやSNSで流れてくる情報を通して知ることも大切ですが、実際はどうか、生の声に耳を傾けたりすることも大切です。例えば、「平和カンパ」募金をしたり、「ピースフェス」に参加して、平和について知ることも身近にできることの一つ。一人一人の「できること」が大きな「できること」につながります。



ピースフェス!! 2024



2024年度平和カンパ



# 東京都内で平和について学べる場所

今回は東京大空襲・戦災資料センターと都立第五福竜丸展示館をご紹介します。

身近な資料館・展示館に行ってみよう!

設立目的は、東京大空襲をはじめとする空襲や戦争による一般民間人の被害の実相を明らかにし、それを伝えていくことにあります。



## 東京大空襲・戦災資料センター

東京大空襲・戦災資料センターは民間の学術研究機関である公益財団法人政治経済研究所の附属博物館です。



親子でお出かけ♪ 8月のイベント情報はこちら

(夏休み特別企画)

8月10日(土) 13時～16時 「戦後世代が語り継ぐ空襲体験」

8月11日(日・祝) 13時～16時 「紙芝居で考える戦争・空襲」

8月12日(月・振休) 13時～16時 「若い世代が〈声〉と〈絵〉と〈動き〉で伝える戦争・空襲」

8月14日(水) 13時～16時 空襲体験者のお話① こばやしのお小林暢夫さん

8月15日(木) 13時～16時 空襲体験者のお話② うえはらあつこ上原淳子さん

※終了時刻はいずれも最長の場合

(開催方法) 会場(定員50名)、Zoomウェビナー、オンデマンド配信

(参加費) 1企画あたり小中高生:500円、一般(大学生以上):1,000円(会場・Zoom共通)  
オンデマンド配信:1,000円

(申込方法) 東京大空襲・戦災資料センターHPよりご確認ください。▶▶▶



世界の子ども平和像



母子像「希い」

## 都立第五福竜丸展示館

東京・夢の島に所在し公益財団法人第五福竜丸平和協会により管理運営される第五福竜丸展示館です。

第五福竜丸は1954年3月1日、アメリカがマーシャル諸島のビキニ環礁でおこなった水爆実験にであい、「死の灰」(放射性降下物)をあびて被害をうけた木造のマグロ漁船です。(長さ30メートル、重さ140トン)。この水爆は広島原爆の1千倍の爆発力で巨大なキノコ雲がおり海と環境を汚染しました。

都立第五福竜丸展示館について詳しくはこちらからご確認ください。▶▶▶



予告!

### 第五福竜丸との企画のお知らせ

～第五福竜丸を知ろう、船上お掃除ボランティアを体験しよう～

(開催日時) 9月28日(土) (開催時間) 10時～12時

(参加者) 組合員10名(高校生以上) ※船上での作業のため、足腰の丈夫な方とします。

(参加費) 無料

(問合せ・申込先) 9月2日週配布の『週刊WITHYOU』または、パルシステム東京ホームページ(8月26日公開)をご確認ください。



5月18日 南部平和委員会主催

身近な戦跡フィールドワーク

「王子・板橋コース」

参加者からひと言!



JR十条駅から赤レンガが残る地域を講師の東海林次男さんのガイドで歩きました。戦争当時のまま残っている建物など知らないことも多く、学ぶことの大切さを感じました。



赤レンガ建物の写真を掲げて陸自十条駐屯地正門前



兵器作りが如何に危険だったか「殉職慰霊碑」前